

取扱説明書

IRINO

らくあげ

UP-50C/D/E



正しく安全に効率の良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

らくあげを お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

この取扱説明書は らくあげ の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買上げまたはお近くの特約店・販売店にご相談ください。
- ▲印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。
 - ▲危険 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
 - ▲警告 その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
 - ▲注意 その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。
- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

もくじ

もくじ	2
安全に作業をするために	3
サービスと保証について	4
仕 様	5
本製品の使用目的について	5
各部のなまえ	6
安全銘板の貼り付け位置	7
各部のはたらき	8
お使いになる前に	9 ~ 12
1. 梱包部品の確認..... 9	
2. 組立..... 9 ~ 12	
作業のしかた	13
1. 運転前の操作	
2. オートホッパーの作動確認	
3. 連続運転	
作業後の手入れについて	14
1. 残り糞の排出	
2. 残留糞の取り出し	
3. 長時間使用しない場合の手入れ	
定期の点検・調整について	15
1. Vベルトの点検・交換のしかた	
不調診断	15

安全に作業をするために

ここに記載されている注意項目を守らないと、
死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目

▲警告 こんなときは、運転しない！

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない。
- 酒を飲んだとき
- 妊娠しているとき
- 18才未満の人

【守らないと】

思わぬ事故の原因になります。



▲警告 点検・整備時には必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜いてから行ってください。

【行わないと】

回動部に手や服が巻き込まれ、思わぬ事故を起こします。



▲注意 必ず作業前の点検をする

機械を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は直ちに整備してから作業を始めてください。

また、作業終了時も点検を行って異常がないかチェックしてください。

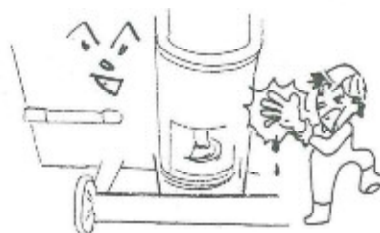


▲注意 カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで外した回転部のカバーなどは、必ず取り付けてください。

【取り付けないと】

機械に巻き込まれたりして、損害事故を起こします。



サービスと保証について

保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに15ページの「不調診断」に従って点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社支店までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
(約□□時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後8年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



仕様

型式	UP-50C/D/E	
能力 (kg/h)	4,500~5,000	
重量 (kg)	36	
モーター	単相100V 200W (コンデンサー付)	
機 体 寸 法	長×幅×高 (mm)	1,672×610×1,574
	出口高さ(mm)	1,155
	ホッパー高さ(mm)	500 (容積40L)
	(補助ホッパー付)	685 (容積70 L)
安全装置	オートカット (7.1A) 圧力スイッチ	
使用Vベルト	M-38 (RED)	

Technical drawing of the UP-50C/D/E machine showing side and front views with dimensions in mm.

Side View Dimensions:

- Total height: 1,574 mm
- Height to top of hopper: 1,155 mm
- Width of hopper: 623 mm
- Height of hopper: 182 mm
- Width of base: 1,672 mm
- Width of main body: 330 mm
- Height of main body: 522 mm
- Distance from base to hopper inlet: 1,342 mm

Front View Dimensions:

- Width of hopper: 610 mm
- Width of base: 498 mm

mm

本製品の使用目的について

本製品は、粳や米、麦の搬送用としてご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください（詳細は保証書をご覧ください）。

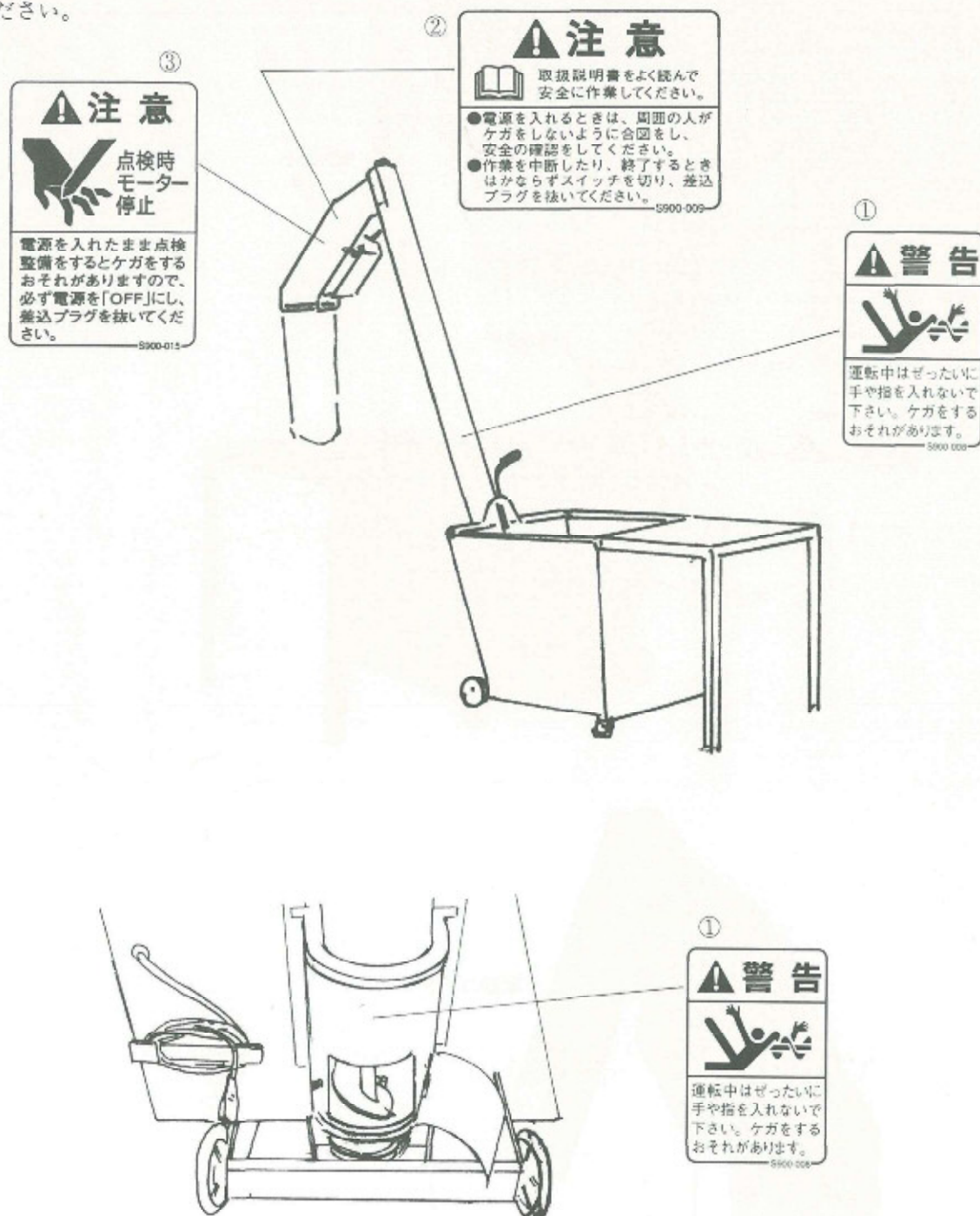
各部のなまえ



安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の位置を示したものです。

安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



No.	品 番	意 味
1	S900-008	警告 運転中手を入れないこと
2	S900-009	注意 使用前に取説を読むこと
3	S900-015	注意 点検は必ずモーターを停止すること

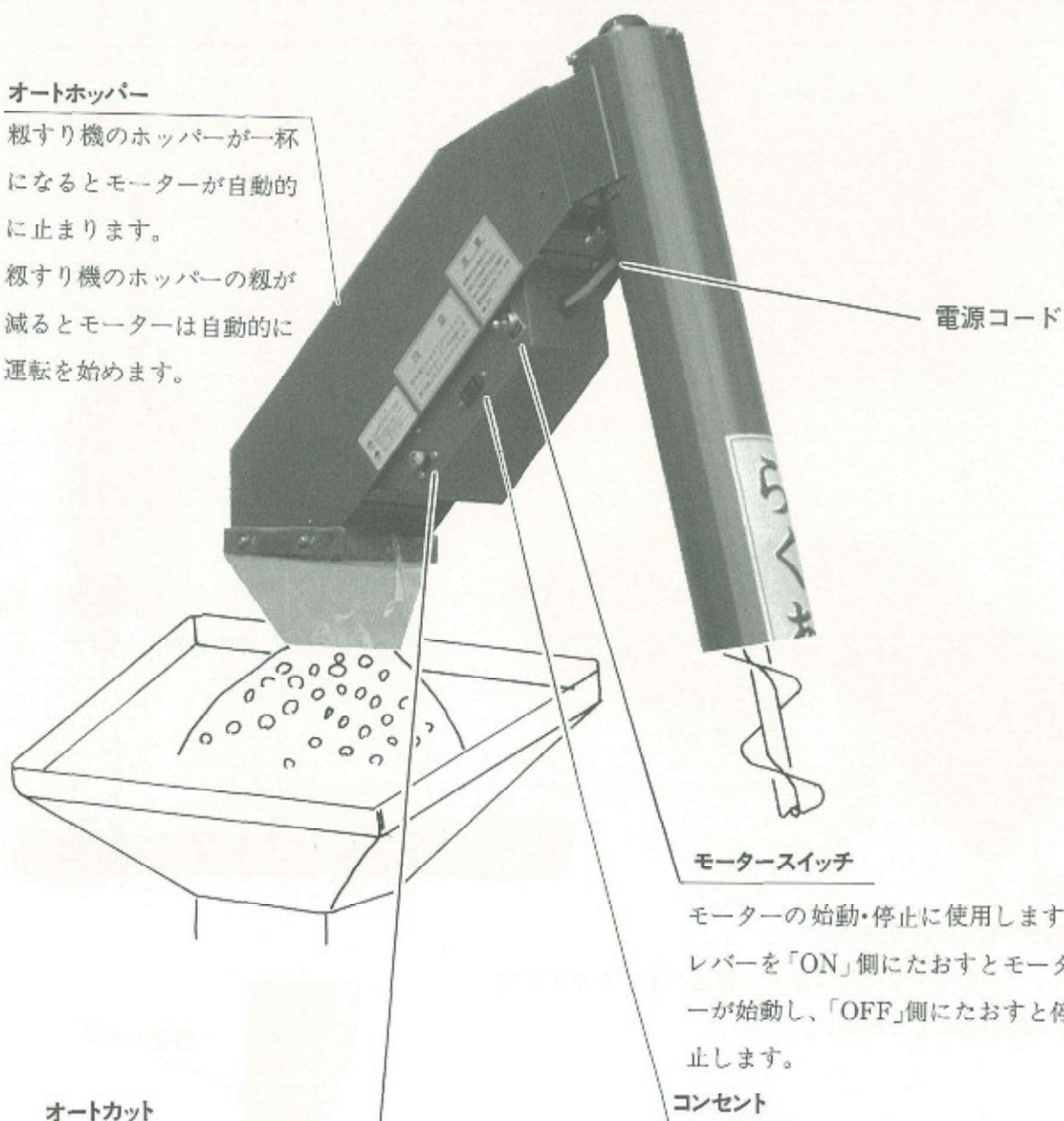
各部のはたらき

なまえとはたらきをよく覚えてください。

オートホッパー

穀すり機のホッパーが一杯になるとモーターが自動的に止まります。

穀すり機のホッパーの穀が減るとモーターは自動的に運転を始めます。



オートカット

モーターの焼損を防止する為のものです。木ぎれや異物がかみ込んでモーターが過負荷になるとモーターを停止させモーターを焼損から守ります。

オートカットが作動すると黄色のボタンがとび出します。原因をとりのぞいたあとに、



ボタンを押すとモーターは起動します。

モータースイッチ

モーターの始動・停止に使用します。レバーを「ON」側にたおすとモーターが始動し、「OFF」側にたおすと停止します。

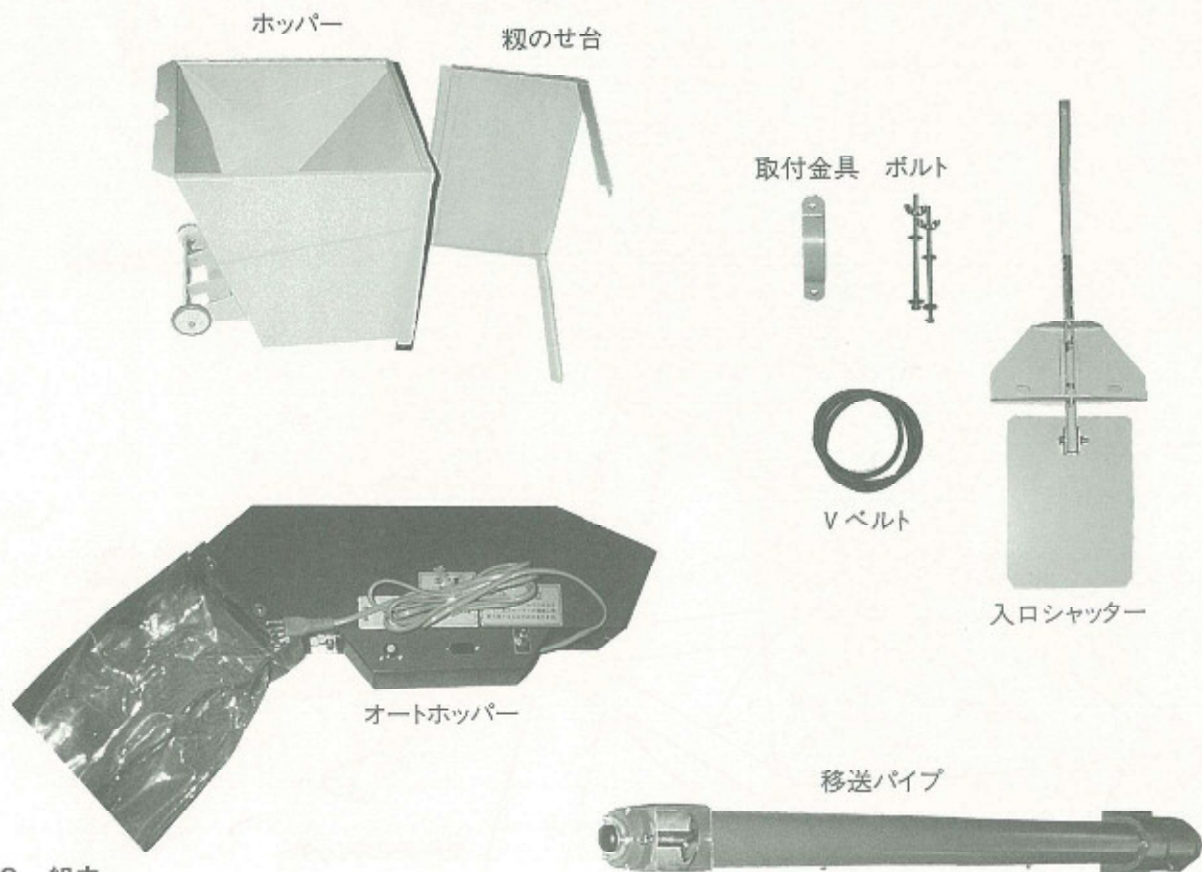
コンセント

モーターのコードを接続します。(P-11)コードの接続の方法を参照してください。

お使いになる前に

1. 梱包部品の確認

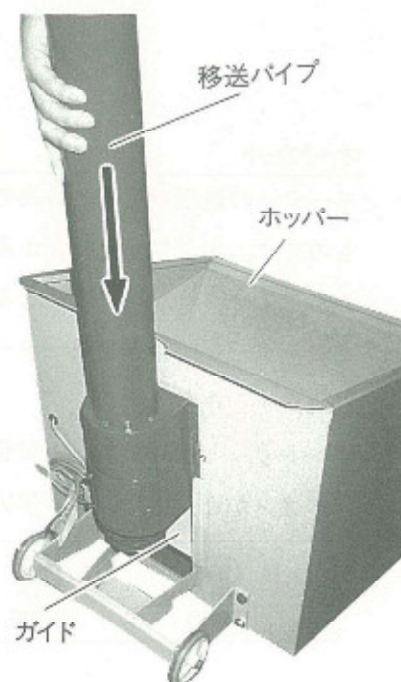
梱包は2梱包です。梱包を解いて部品を確認してください。



2. 組立

① 移送パイプの取り付け

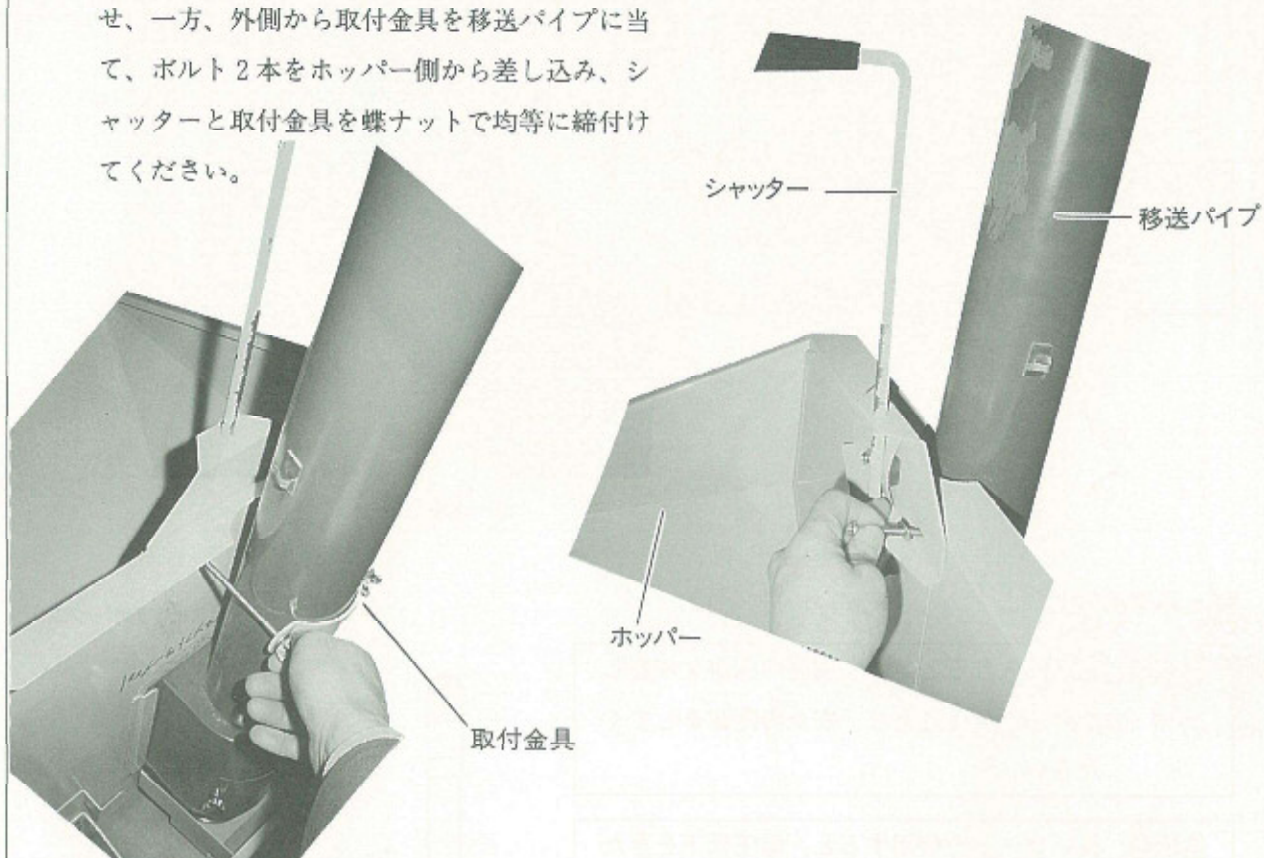
ホッパーを水平な場所に置き、移送パイプをガイドに合せ差し込んでください。



お使いになる前に

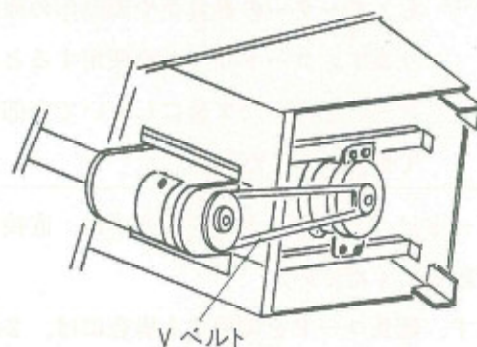
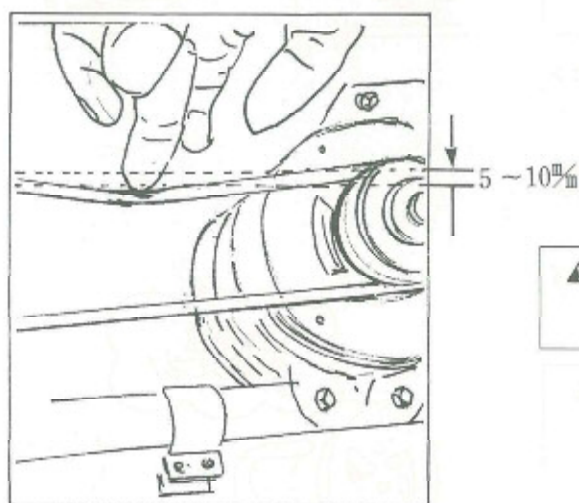
②シャッターの取り付け

シャッター(組立品)をホッパーの内側に位置させ、一方、外側から取付金具を移送パイプに当て、ボルト2本をホッパー側から差し込み、シャッターと取付金具を蝶ナットで均等に締付けてください。



③ベルトの取り付け

本体を横に倒しベルトを掛けてください。



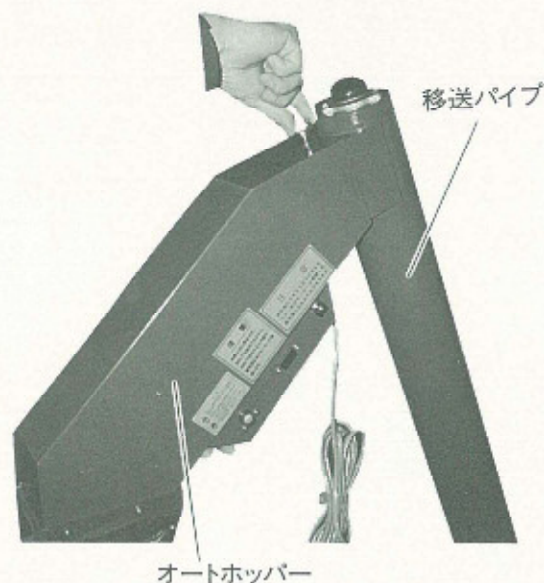
▲注意 ベルトの張り具合は指で軽くベルトを押えベルトのタワミが5~10%程度にします。

お使いになる前に

④オートホッパーの取り付け

移送パイプ取出口上側の蝶ボルトを一旦外し、オートホッパーを差し込んであらためて、蝶ボルトを上・下2本で締付けてください。

(注) 飛散防止ビニールは糞すり機の高さに合わせて、曲げるか切るかして長さを調節してください。



⑤コードの接続

▲注意 電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。

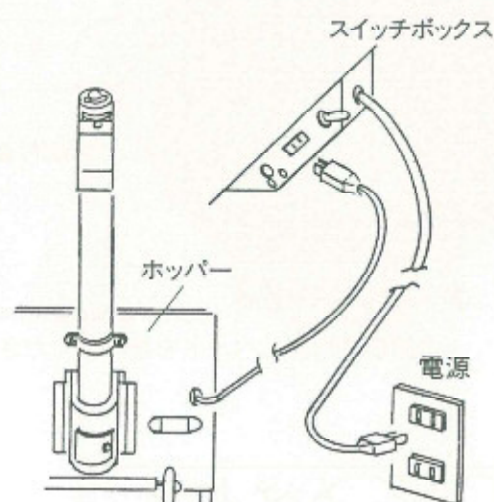
▲注意 長いコードを使用すると、電圧低下をきたし、モーターの過負荷や誤動作の原因となります。コードリールを使用するときには、コードを巻いたままにしないで全部伸ばして使用してください。

電源コードは、延長コードを使用せずに、直接コンセントに接続してください。

やむえず、延長コードを使用する場合には、2mm以上の太いコードを使用し、出来るだけ短くしてください。

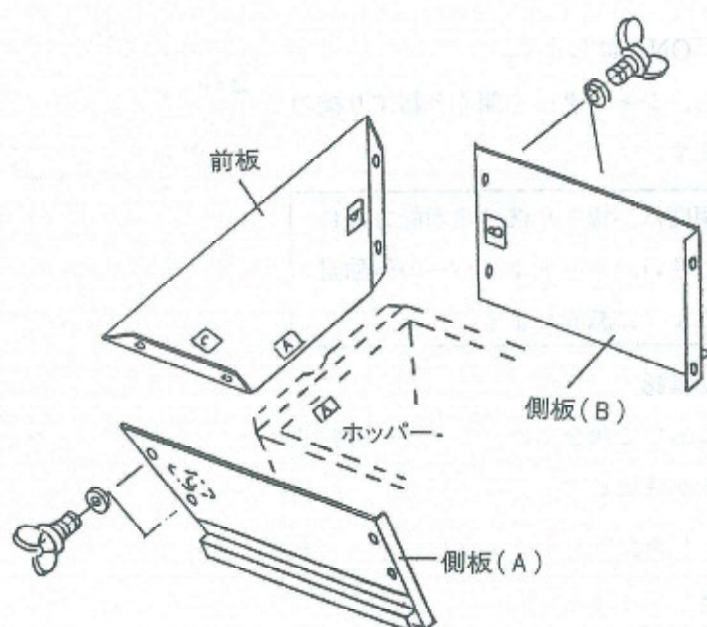
ホッパーのモーターコードをスイッチボックスへ、スイッチボックスのコードを電源へ接続してください。

(注) スイッチを入れ、モーターが矢印方向に廻ることを確認してください。



⑥補助ホッパーの組立て＝

前板のシール記号(A・B)に各々の側板の記号を合せ、蝶ボルトで締付けてください。粗のせ台の方向を決め、補助ホッパーをホッパーの上にのせてください。



作業のしかた

お読みください

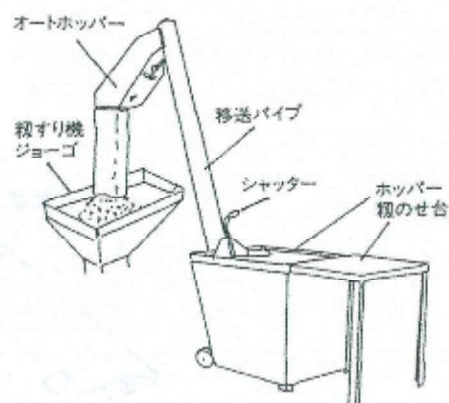
1. 運転前の操作

▲警告・電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。

・作業を中断したり、終了するときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜いてください。

- ① 粳すり機ジョーゴの中にオートホッパー出口をセットします。
- ② モータースイッチを「ON」にします。
- ③ ホッパーに粳を供給し、シャッターを開くと粳すり機のジョーゴに粳を送ります。

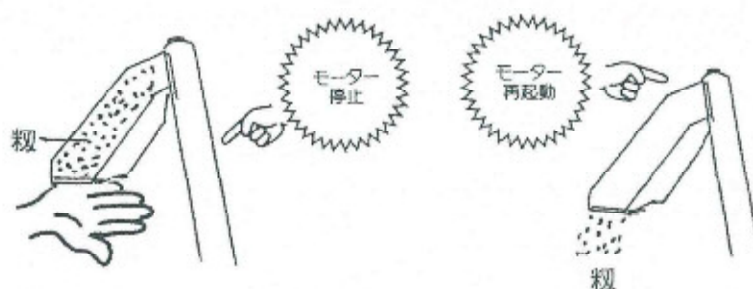
(注) シャッターの開度は、粳すり機の処理能力に合わせて行ってください。オートホッパーの作動回数が少なくなるように調節します。



2. オートホッパーの作動確認

オートホッパーの出口にあてて粳を詰め、モーターが自動停止するか、また手を離し詰まりがなくなりモーターが再起動するか確認します。

(注) モーターが停止し再起動しないときは、オートホッパー内蔵の圧力スイッチが故障ですので販売店へ連絡してください。



3. 連続運転

各部の点検の結果が良ければ連続運転に入ります。

粳すり機の性能に合った粳搬送をするために運転中、次の点に注意をはらってください。

○ 粳の供給（搬送）量は適当か（モーターが再起動を頻繁に繰返すとモーターや電気系統の焼損の原因となります。）

- ・ 粳すり機が連続運転の状態でジョーゴに粳が切れることなく送られている状態が最良です。
- ・ 逆に満量状態でモーターが停止と再起動を頻繁に繰返しているとき、またジョーゴに溜らずに流れこんでいる状態は搬送量が不適でありホッパーのシャッター開度の調節が必要です。

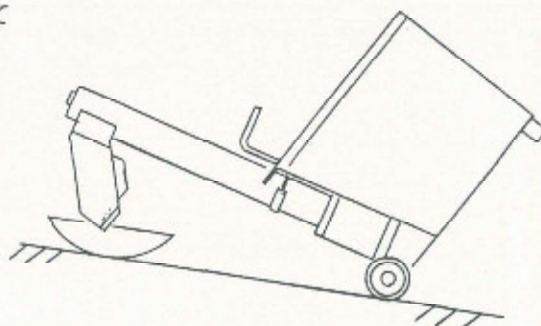
▲警告 ラセンに異物がかみ込んだ時

- ・ 必ずモータースイッチを「OFF」にし、電源コードを抜きます。守らないと異物を取り除いたとき、急にラセンが廻り危険です。
- ・ オートカットが作動しているときは、黄色のボタンを押し込んでください。

作業後の手入れについて

1. 残り糞の排出

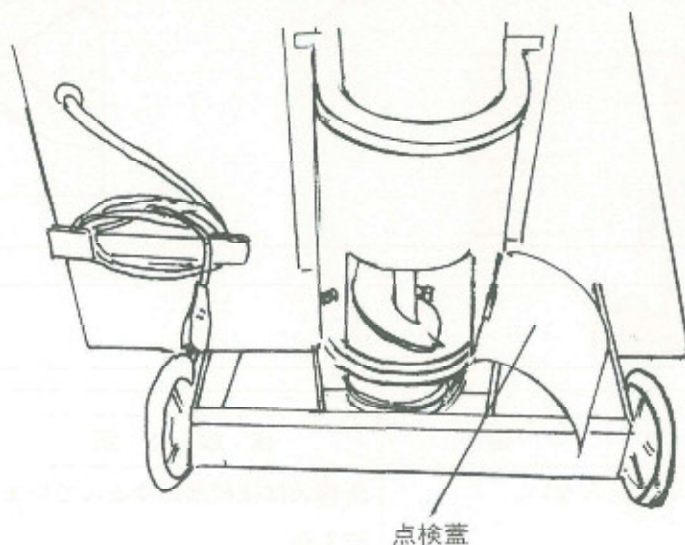
- 作業終了後の本体内残り糞は、機械を前に傾けて運転（飛散防止ビニールは取り外して）すると、殆んどの糞は搬出されます。



2. 残留糞の取り出し

- ▲警告**
- ・残留糞を取り出すときは、必ずモーターを確実に停止させ、回転部が完全に止まってから行ってください。モーターが回転したまま作業を行うと、ケガをするおそれがあります。
 - ・取り外したカバー類は、衣服が巻き込まれたりして危険ですので、必ず取り付けてください。外したままで作業をすると、ケガをするおそれがあります。

残留糞は、移送パイプ下部の点検蓋を開いて行います。



3. 長時間使用しない場合の手入れ

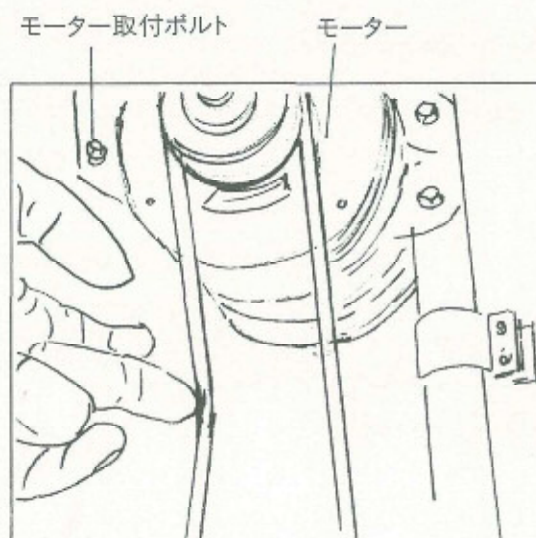
- ①格納場所はできるだけ乾燥した場所を選んでください。
- ②ネズミ侵入防止のため、オートホッパーの出口をビニール袋で覆い、又シャッターは完全に閉じてください。

定期の点検・調整について

1. Vベルトの点検・交換のしかた

- ▲警告 ・点検・整備をするときは、必ずモーターを確実に停止させ、回転部が止まってから行ってください。モーターが回転したまま作業を行うとケガをするおそれがあります。
- ・取り外したカバー類は、衣服が巻き込まれたりして危険ですので、必ず取り付けてください。外したままで作業をするとケガをするおそれがあります。

- ・ベルトの張り具合は指で軽く押してベルトのタルミが5～10mm程度が適当です。
- ・ベルトを張る時はモーター取付ボルトをゆるめて、モーターを矢印方向へずらしてください。



不調診断

状 況	点 検 箇 所	処 置
モーターが回らない。	断線又は接続部がゆるんでいませんか。	・各接続部のビス類を確実に締付けてください。 ・コンセントを確実に差し込んでください。
	オートカットが作動していませんか。	・原因をとりぞいてからオートカットをリセットしてください。
	オートホッパーの圧力スイッチ不良。	・販売店に御相談ください。
オートカットがひんばんに作動する。	オートホッパーの作動回数が多すぎる。(モーターの起動・停止がひんばん)	・入口シャッターをしぼって供給量をへらしてください。
搬送能力が低下した。	Vベルトがゆるんでいませんか。	・Vベルトをはってください。

製造販売元



株式会社

岡山農栄社

ホームページ <http://noeisha.co.jp>

本社	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
本社営業所	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
北海道営業所	〒078-8275 旭川市工業団地5条3-3-1	TEL (0166) 36-5115
東北営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町4-2-44	TEL (022) 232-5609
関東営業所	〒372-0023 群馬県伊勢崎市粕川町1616	TEL (0270) 21-8127
九州営業所	〒862-0911 熊本市東区健軍3-45-13	TEL (096) 368-7407

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			